

緑茶介入試験

緑茶介入試験 概要

1 試験方法

二重盲検法による緑茶の生活習慣病予防の有効性評価に関する
ランダム化比較試験

2 介入期間

12週間

3 試験人数

	選考人数	試験人数
2009年	161人	154人
2010年	161人	159人
2011年	104人	100人

4 試験食品

	群数	試験食品
2009年	3群	①やぶきた茶エキス粉末カプセル 1.8g/day ②べにふうき茶エキス粉末カプセル 1.8g/day ③偽粉末（でんぷん等）カプセル 1.8g/day
2010年	3群	①べにふうき茶紙パック（カテキン量600mg）/day ②べにふうき茶紙パック（カテキン量400mg）/day ③プラセボ（大麦茶）紙パック/day
2011年	2群	①べにふうき茶（カテキン量400mg）＋レシチン（200mg以下）紙パック/day ②べにふうき茶（カテキン量400mg）紙パック/day



2009年 エキス粉末カプセル 2010年、2011年 紙パック飲料

緑茶介入試験 検査風景



試験内容説明会

試験開始前の参加希望者に試験内容についての説明会を実施



血圧測定

試験期間の開始、中間、終了時に血圧を測定



採 血

試験期間の開始、中間、終了時に血液検査などを実施



問 診

試験参加者の体調について問診を実施

検査会場

掛川会場



徳育保健センター

住所：静岡県掛川市御所原9-28

大東会場



大東保健センター

住所：静岡県掛川市三俣620

掛川市の今後の展望

今年で農林水産省委託事業としての「掛川スタディ」は一区切りとなりますが、今後も研究者、市民、業界、行政などがそれぞれの立場で協働し、市をあげて緑茶研究を推進するとともに、緑茶の持つ可能性について世界に向けて情報発信していきます。